



図書館の思い出

分子生物学講座
教授 鈴木 拓

昨年から今年にかけて、新型コロナウイルス感染症の対策のため、図書館の利用も制限されてきましたが、緊急事態宣言が解除されたことを受け、11月から図書館の24時間利用が再開されました。時をほぼ同じくして、遠隔授業から対面授業への切り替わりが進んだこともあり、学内で学生の皆さんの姿を見かけることが徐々に増え、日常が戻ってきたように感じます。新たな変異株の登場が盛んに報道されていますので、引き続き十分な注意が必要ですが、図書館が学びの場としての役割を無事果たしていけるよう祈念しております。



私が在学中、図書館は今の基礎医学棟が建つ前にあった旧大学棟の中にありました。図書館を活発に利用するようになったのは、学生時代よりも卒業して研修医になった1995年以降と記憶しています。現在のようにインターネットによる文献検索や、各雑誌社によるダウンロードサービスなどない時代でしたから、勉強のために文献を探すときは図書館まで行って、多連装のCD-ROMドライブを接続したPCで医中誌を検索して、文献をコピーして持ち帰る日々でした。

また当時、解剖学第一講座教授だった辰巳先生のご尽力で、札幌医大はネットワークへの先進的な取組に積極的で、図書館にもNeXTのワークステーション(NeXTstation)が設置されていました。NeXTと言っても分かる人はかなり少なくなってしまうと思いますが、アップルを追われたスティーブ・ジョブズが立ち上げた会社で、商業的にはそれほど成功しなかったものの、非常に先進的なOS(NeXTSTEP)とハードウェアを備えたコンピュータを開発しました。世界初のウェブブラウザであるWorldWideWebは、NeXTSTEPを使ってCERNで開発されたという逸話もよく知られています。話はさらに脱線しますが、NeXTSTEPは後にジョブズがアップルに復帰することで、いまのmacOSやiOSにつながっています。

私も学生の頃、NeXTstationに触りに図書館に足を運んだものですが、やったことと言えば、もらったアカウントでログインして電子メールをチェックする程度でした。それでも、高解像度のモノクロ画面に映し出された美しいグラフィカルユーザーインターフェイスに魅了されたことをよく覚えています。やがて学内LANが整備され、各部屋のPCがネット接続できるようになる頃、NeXTstationはいつの間にかひっそりと姿を消してしまいました。

現在、文献の検索や管理がすっかり便利になったことは、Barksのバックナンバーで樋之津先生や佐々木先生が述べられている通りです。改めて本学附属総合情報センターのウェブサイトを眺めると、図書館サービスの充実ぶりに感銘を受けます。この恵まれた環境を使って、学生は一層勉学に励み、教職員はもっと論文を書かねば、と自戒を込めて痛感するところです。

PIRKAの使い方

当センターでは、皆さまがお探しの資料や情報にたどりつけるよう、様々な検索ツールを提供しています。今回は、統合的に資料を探索できる「PIRKA（ピリカ）」について簡単に紹介します。



▶ アクセス方法:
センターHP
→ ページ中ほど・右側
「統合検索（PIRKA）」

統合検索  蔵書検索、電子ジャーナル、電子ブック、研究成果（リポジトリIkor [イコル]）、国内外の論文情報の検索を一括で行えます。

電子コンテンツ (EJ/E-book) 

購読している電子コンテンツを検索できます。
また、PIRKAトップページ上部「A-Z」からは、電子ジャーナルを雑誌名で検索できます。（下図の真に移動します）

電子ジャーナルリスト

ジャンル カテゴリ 検索条件 1000 件表示

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

検索

蔵書検索  当センターで所蔵している資料を検索できます。

論文検索  購読誌の他、オープンアクセスの論文、PPVで閲覧可能な論文が検索できます。
なお、今年度は「WileyPPV(トークン)もご利用いただけます。詳細は、下記をご確認ください。

▶ センターHP
→ 下段・PPV利用案内
→ Wiley社「Wiley Online Library」サービス詳細

ここで検索範囲を指定します。

マイライブラリの使い方

便利な機能がたくさんの「マイライブラリ」へのログインが当センターHPトップからできるようになりました。「マイライブラリ」は簡単に購入リクエストができる他、貸出期間の延長、予約、蔵書検索結果の保存などの機能があります。今回は、非来館で行える機能をいくつか紹介します。



▶ アクセス方法:
センターHP
→ マイライブラリ
→ ログイン
※ ID/PassはSAINSアカウントと同一

新規申し込み 

「購入を依頼」から必要事項を入力するだけで、図書購入リクエストのお申込み完了です。

これまでどおり、大学書庫からの申込みも受付しており、いずれの方法からでもリクエストにより購入した図書はお申込みの方が優先的に利用できるよう、予約資料として1週間の取置期間を設けます。

借用中の資料 

現在、図書館から借りている資料を確認できます。借用中の資料で、返却期限前かつ他に延滞資料がない場合は、1回のみ各資料の右下表示の「延長する」から延長の手続きが可能です。

「マイライブラリ」から購入リクエスト(「購入を依頼」から申込)し、購入可となった場合、「入手待ちの資料」から詳細確認できます。また、貸出可能になると「予約資料が確保されました」という件名でメールが届きます。

❖ 冬季休業・年末年始期間中の開館時間の変更及び休館について



■ 冬季休業、年末年始期間中の開館時間については、以下のとおりとなります。
 利用者の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

期 間		通常開館時間	特別開館時間
平 日	12月13日(月)～ 12月27日(月)	9時00分～ 17時00分	17時15分～ 翌日9時00分
土日・祝	変更はありません。		9時00分～ 翌日9時00分
年末年始	12月28日(火)	9時00分～ 17時00分	休館(年末年始休館準備)
	12月29日(水)～ 令和4年1月3日(月)	休館 (IDカードによる入館はご利用になれませんので、予めご了承ください)	
	令和4年1月4日(火)	9時00分より通常通り	



❖ 学部学生・大学院生・専攻科生に対する長期特別貸出の実施について

■ 冬季休業期間に伴い、長期貸出を以下のとおり実施いたします。

対 象 者	学部学生・大学院生・専攻科生
対象資料	一般図書
貸出冊数	6冊以内(学部学生)
	制限無し(大学院生・専攻科生)
期 間	令和3年12月6日(月)～ 令和3年12月28日(火) ※令和4年1月4日(火)より通常貸出期間(14日間)
返却期限	令和4年1月17日(月)

※ 貸出資料は、必ず期限内に返却されるようお願いいたします。
 ※ 製本雑誌の特別貸出は行いませんのでご了承ください。



❖ 「文献複写・現物貸借」依頼受付の休止について

年末年始における他大学等への「文献複写、現物貸借」依頼受付を、以下のとおり休止いたします。ご不便をお掛けしますが、ご了承くださいませようよろしくお願いいたします。

【休止期間】

令和3年12月24日(金)17:00～ 令和4年1月4日(火)9:00まで
 (国立情報学研究所が提供している目録所在情報サービスの年末年始による停止のため)

【「文献複写・現物貸借」依頼受付期日/引渡し】

依頼受付期日	引渡目途
令和3年12月20日(月)まで	年内引渡し
令和3年12月21日(火)～ 令和3年12月24日(金)17:00まで	申込みから約2～3週間程度
令和4年1月4日(火)9:00～ 令和4年1月10日(月)	
令和4年1月11日(火)以降	通常通り(申込みより約1週間程度)

※ 年末年始に伴い、依頼先(大学図書館等)が休業となるため遅延が予想されます。



情報センターセキュリティ便り ～フィッシング詐欺にご注意～

近年、急増しているフィッシング詐欺メール。約2年前の報告件数は、一月当たり約8,000件でしたが、現在は約50,000件。およそ5倍もの件数となっています（フィッシング対策協議会の月次報告より）。その手口はますます巧妙になってきており、一目ではそれがフィッシング詐欺であるかどうか判別できないケースも増えています。

・フィッシング詐欺とは？

送信者を詐称した電子メールを送りつけたり、偽の電子メールから偽のホームページに接続させたりするなどの方法で、クレジットカード番号、アカウント情報といった重要な個人情報を盗み出す行為のことです。

・卑劣な手口

クレジットカード会社や銀行からのお知らせと称し、リンク先の偽サイト（本物のサイトとそっくり）へ誘導します。そこでクレジットカード番号等を入力するよう促し、情報を盗み取ります。もっともらしい文面や緊急を装うため、一見判別が困難なケースもあります。メールに記載されたURLを、本物のURLと1文字違いにする等、閲覧者が見間違えたり信用させられたりする手口もあります。



・注意するポイント

クレジットカード番号等を入力するページへアクセスする場合は、予め公式のwebサイトをお気に入り登録しておく。webサイトのドメイン名を意識し、正しいサイトであるかどうか確認する。当該企業の公式HPより問い合わせ先を調べて電話をする。完全に無視をする等、とにかくメールに記載されてある内容を全て鵜呑みにしないことが大切です。怪しげなメールが届き不安な場合は、情報センターまでご相談ください。



総務・システム係 内線: 22390/22490 Email: icccj@sapmed.ac.jp

◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	24240	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス (カウンター)
学内所属員の文献複写依頼に関すること	24180	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関すること	24170		
図書に関すること	24160	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関すること	24230	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関すること	24160	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メールアドレス、LANへの機器接続に関すること	22390	icccj@sapmed.ac.jp	総務・システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	24170	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス

誌名「Barks (パークス)」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮 (liber)」の英訳です。

パークス
Barks

Sapporo Medical University
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL 011-611-2111(代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpr/> E-mail libserv@sapmed.ac.jp